



大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職：長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句に学ぶ

松尾芭蕉(俳人)

今日彼岸 菩提の種をまく日かな

九月十九日～二十五日は、秋のお彼岸です。今年のお盆の入り・八月十三日は豪雨に見舞われましたが、お彼岸は何とかおだやかな天候になるよう祈ります。

お彼岸は、仏弟子となつて仏さまの世にいらつしやるご先祖さまをご供養する機会であると同時に、仏道修行に勤しむ機会でもあります。その内容を具体的に示したのが、「六波羅蜜」です。

- 一、布施 物や心を施す
- 二、持戒 戒めを保つ
- 三、忍辱 苦難を耐え忍ぶ
- 四、精進 努力をする
- 五、禪定 心を落ち着ける
- 六、智慧 仏の心で生きる

ずいぶん沢山あるな…。そうお思いかもしれません。しかし、私たちがお彼岸に行っていることの中に、これらの要素がしっかりと含まれているのです。

皆さんは、お仏壇やお墓の前で手を合わせ、お参りをしている時、どのような

心持ちになるでしょうか？すーっと心が落ち着き、また、謙虚で素直な心になるのではないのでしょうか？その時、既に先の「六波羅蜜」の土台となる「禅定」の「種」がまかれています。種がまかれなければ、菩提（おさとり）に至ることはできません。その積み重ねが、いつしか、坐禅や写経、読経といった、仏道修行へとつながるのです。

また、私たちの命は限りがあり、いつ、ついでるかかわからないものです。「いづれ」、「そのうち」と先延ばしにするのではなく、思い立った「今日」から、努めましょう。毎年、春と秋に巡り来るお彼岸は、私たちが、「仏さまの道」に目覚める絶好の機会です。冒頭でとりあげた芭蕉の句を合言葉に、共に精進してまいりましょう。

合掌



仏事 Q & A 第十三回

Q. 「取り越し法要」とは？

A. 遠方から来られる方に配慮し、初七日など、本来は七日毎に営まれる法要を前もって行うことをいいます。

当寺では、葬儀後は、三十五日、もしくは四十九日後を目安に忌明け法要を執り行っております。忌明け法要の際には、仮位牌(白木位牌)を本位牌(塗り位牌)を交換いたします。

当寺の最新情報はこちらをご覧ください

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

※ご覧いただく場合は、facebook アカウントが必要です。



携帯サイト QR コード

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)